

EPAシンポジウム 登壇者プロフィール

【第一部 基調講演 講演者】

田中 均（たなか ひとし） 財団法人日本国際交流センター
シニアフェロー

1969年京都大学法学部卒、同年外務省入省。北米局北米二課長、アジア局北東アジア課長、在連合王国日本国大使館公使、経済局長、アジア大洋州局長、外務審議官（政務）等を歴任後、2005年退官。同年9月より現職の（財）日本国際交流センター シニア・フェロー。

【第二部 パネル討論 パネリスト】

大川 三千男（おおかわ みちお） 日本経済団体連合会
アジア・太平洋地域委員会企画部長
東レ顧問

1963年東京大学経済学部経済学科卒、同年東洋レーヨン（現・東レ）株式会社入社。同社常務理事・株式会社東レ経営研究所取締役副社長を経て、2002年から現職。

鈴木 宣弘（すずき のぶひろ） 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

1982年東京大学農学部卒。九州大学農学部助教授、教授を経て2006年9月から現職。夏期はコーネル大学客員教授も兼務。日韓・日チリFTAの産官学共同研究会委員を務め、小泉内閣のEPA国民対話（東京・鹿児島）にも登壇。

主要著書に、『FTAと食料－評価の倫理と分析枠組』（筑波書房、2005年）、『FTAと日本の食料・農業』（筑波書房、2004年）など。

林 貞行（はやし さだゆき） 外務省顧問

1960年東京大学教養学部教養学科卒、同年外務省入省。経済局国際機関第一課長、国際連合日本政府代表部参事官、経済局長等を経て、外務大臣官房長、外務審議官、外務事務次官を歴任。1997年から2001年まで特命全権大使として連合王国駐劄、2006年より現職。

チャールズ・レイク 在日米国商工会議所 会長

3～15歳まで日本に在住、小中学校まで日本の義務教育を受ける。1990年ジョージ・ワシントン大学法学院にて法学博士号取得。米国通商代表部日本部長、次席通商代表付法律顧問、弁護士としての勤務を経て、99年アフラック（アメリカンファミリー生命保険

会社)入社、2003年日本における代表者・社長、2005年4月より日本における代表者・副会長(現職)。2006年より在日米国商工会議所(ACGJ)会頭を務め、2008年1月より会長に就任。

アリソン・マリー 欧州ビジネス協会 事務局長

メルボルン大学にて科学教育修士課程を修了後、メルボルンのスウィンバーン工科大学にて日本語を専攻。メルボルン単科大学で准教授を務めた後、日本においてエコノミスト誌等に主に日本のハイテク産業についての記事を寄稿しながら国際ニュースサービスに携わり、在京カナダ大使館勤務等を経て1998年より現職。

渡邊 頼純(わたなべ よりずみ) 慶應義塾大学総合政策学部教授

1976年上智大学文学部哲学科卒、College of Europe(経済学専攻)に留学後、上智大学大学院国際関係論専攻博士前期課程ならびに同博士後期課程に在学。ジュネーブ国際機関日本政府代表部専門調査員、GATT事務局勤務、欧州連合日本政府代表部専門調査員、外務省大臣官房参事官兼経済局、外務省参与等を経て2005年より現職。主要著書に、『WTOハンドブック』(編著、ジェトロ出版、2003年)、『ケースブック GATT・WTO法』(共著、有斐閣、2001年)など。

【コーディネーター】

横田 淳(よこた じゅん) 日本政府代表

1971年東京大学法学部第三類中退、同年外務省入省。在ジュネーブ日本政府代表部公使、大臣官房審議官兼経済局、文化交流部長、在香港日本国総領事、在イスラエル国日本国大使、国際貿易・経済担当大使等を経て、2007年7月から現職。